

少林寺拳法

支部会員数 30名

代 表 者 鈴木 和夫

設立年月日 1975年 9 月

【概要】

少林寺拳法部は、前道院長中村光良氏がわずか25歳という年齢で設立し、以来竜洋町体育協会の会員として活動してまいりました。

武道という性質上、怖いというイメージがついているのが一般的にとらえ方ですが、少林寺拳法は護身錬胆・健康増進・精神修養の三徳を備えた行ですので、格闘技という一面も備えておりますが、幼児からご婦人まで幅広く技の鍛練を楽しく行うことを目的としております。

《会員数》

30名

50歳代から保育園児まで年齢性別問わず幅広く活動しております。

5 段	1 名
3 段	2 名
2 段	2 名
初段	3 名
1 級から 3 級	10名
4 級から 8 級	9 名
見習い	3 名



《年間の活動内容》

毎年1月より約1ヵ月間初心者教室を開催しております。

昨年度は12名参加されました。

年何度か行われる昇級・昇段試験に向けて各個人の技を修行しています。

《修練場所》

竜洋海洋センター体育館

毎週水・金曜日

午後7時より9時30分まで

《平成21年度活動報告》

6 月 静岡県大会

本年は女子マスタース部門において最優秀賞を受賞しました。

8 月 武道館事業参加

県武道館での2日間のカリキュラムに参加、主内容は健康増進法と熱中症対策など

10月 全国大会

青森市

12月 支部演武会

支部員全員が父兄とともに演武を行います。

1月1日 新年寒げいこ

1月から2月 少林寺拳法教室

《少林寺拳法の沿革と創立》

少林寺拳法は、中国から伝わったものだという間違ったとらえ方をされる方がおられますが、1947年、開祖、宗道臣が日本で創始されました。

少林寺拳法は勝ち負けを目的とはしていません。技を通じて、自信と勇気と行動力を身につけ、慈悲心と正義感を持った本当に強い人間を育てるためのものです。

勝ち負けにこだわり、強い人間だけが勝ち組になるという指導をしたならば、ご婦人がたが健康のためと言って子供と一緒に続けて行くことは不可能でしょう。

竜洋支部の30代・40代は女性が子供と一緒に修練をしているという環境ですから、いかに健康に留意しているかが解ると思います。

少林寺拳法では、練習ではなく修練と呼び、各自を拳士と呼んでいます。

我々一般拳士が目指す人間像は確固たる信念を持って、自己の可能性を信じる生き方ができる人間、主体性を持った生き方ができる人間、他人の幸せを考えて行動できる人間、正義感と勇気と慈悲心を持って行動できる人間、連帯し協力しあう生き方ができる人間を目指しています。

そのための方法の一つが少林寺拳法の技であるのです。

ですから技のほとんどが護身術ですので、どなたにも出来ますし、そのような教え方になっております。

私自信も強くなりたくて入ったのに、技の種類が多すぎて覚えられない、突いたり蹴ったりだけならまだしもなんでこんなにたくさんの種類があるのだろうと、非常に疑問を感じたのですが、やっているうちにその魅力に引き込まれて20年近く経ちました。

少林寺拳法では子供の育成教育に最も力を入れて取り組んでおります。

礼儀作法は一般のスポーツでもごく当たり前に実施されておりますが、リーダーとなれる人間を一人でも多く育てることが、少林寺拳法では求められておりますので、指導者もそれなりの人間の資質が求められており、厳しいものがあります。

60歳からでも始められる少林寺拳法の魅力と一緒に経験してみたいかでしょうか。

